

# FOR YOU

東京電機大学中学・高等学校同窓会

VOLUME

41

朋友

発行 2026 (令和8) 年3月14日  
発行責任者 伊奈 敬  
発行所 東京電機大学中学・高等学校同窓会  
<https://www.tdu-chukodoso.com/>  
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番  
[東京電機大学校友会]  
TEL 03-5284-5140



## 会長挨拶

### 東京電機大学中学・高等学校同窓会は 母校と同窓生の応援団です!

東京電機大学中学・高等学校同窓会 会長

#### 伊奈 敬

卒業生の皆様には、平素より同窓会活動に多大なるご協力ならびにご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は、同窓会の活性化を目的として、新たに三つのイベントを企画・実行いたしました。

- 武蔵野祭において、武蔵野大学から樋口あや先生をお迎えし、「太陽と地球のレシピ」という夢のあるテーマで講演会を開催しました。
- 「大学ってどんなところ？」をテーマに、大学進学を希望する生徒や保護者を対象に進学相談会「現役の大学生に聞いちゃえ」を開催しました。
- 5月に「二十歳の祝い」を、11月に「三十歳の集い」を開催しました。「三十歳の集い」は初開催で、卒業後12年を経て社会で成長した参加者が、当時のクラス担任や同級生と談笑する姿が見られました。

これら三つのイベントは、小金井キャンパスを卒業した若い卒業生の皆様にご協力いただき、実現することが

できました。

また、同窓会では、在学会員のサービスとして、体育祭や文化祭に奨励賞を授与してまいりました。中学校探求研究に対しても奨励賞を設けています。さらに、クラス会の様子を同窓会ホームページに掲載し、同窓生の皆様にお伝えしています。

1992 (平成4) 年に小石川から小金井へ移り、すでに30年以上が経過しました。今後は小金井キャンパスで育った卒業生の皆様に、同窓会の活動を少しずつ託していければと願っております。

最後に卒業生の皆様へお願い申し上げます。住所や氏名が変更になった方は、ぜひ変更の手続きをお願いいたします(住所変更ページのご案内が13ページにございます)。同窓会が主催するイベントのご案内をお送りする際、住所等が変更されているとお届けできない場合がございますので、何卒ご協力をお願い申し上げます。



## 名誉会長(校長)挨拶

### 絆が育む母校の文化

名誉会長(東京電機大学中学校・高等学校 校長)

#### 平川 吉治

日頃より本校の教育活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆様のご厚意は、在校生にとって大きな励みとなり、学びの質を高める力となっています。

本年度は、昨年5月に「二十歳の祝い」を開催したのに加え、11月には新たに「三十歳の集い」を実施いたしました。いずれも多くの卒業生が参加し、旧友や恩師との再会を楽しむ姿が見られ、母校を懐かしむ笑顔にあふれたひとときとなりました。特に「三十歳の集い」では、社会で活躍する同窓生同士が互いの経験を語り合い、次のステージへの刺激を得る場ともなり、たいへん好評でした。

「母校」という言葉は、出身校を表す言葉の中でも特別な響きを持っているように感じます。卒業した時代が異なっても、同じ学校を巣立った者同士は、まるで兄弟姉妹のような存在です。血縁と同じように、母校との絆は一生続きます。そして、その絆は同窓の仲間との間にも確かに息づいています。互いに助け合い、支え合いながら、母校の発展を見守っていく——その思いが集まることで、学校の文化はより豊かに育まれていくのでしょうか。

これからも、母校は皆様の帰りをいつでも歓迎いたします。ぜひ折に触れてキャンパスに足をお運びください。今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。



頑張る先輩

## 心を育む次世代の技術者像

学校法人 東京電機大学  
理事長 渡辺 貞綱

東京電機大学中高同窓会の皆様には、日頃より学園運営に深いご理解とご支援をいただいております。また、伊奈会長を中心に活発に活動されていることに敬意を表します。

私は、昨年5月に石塚前学園理事長からバトンを譲り受け、学校法人東京電機大学理事長に就任しました。

当時神田錦町にありました東京電機大学高等学校（電高）普通科を昭和40年に卒業後、東京電機大学に入学しました。私たちは、後に堺屋太一氏の小説の題名にちなんで名付けられた「団塊の世代」の最初の世代になります。思い起こしますと、電高を卒業してからちょうど60年、還暦になります。

高校時代は、休みには同級生と無宿旅行を楽しんだり、生徒会活動をしたりしておりました。国語の佐藤吉弥先生から「本学は理工系の学校であるが、とにかく著名な大河小説を読みなさい」と勧められ、大学受験をそっちのけで、中里介山の『大菩薩峠』やトルストイをはじめ、ショーロホフ、マルタン・デュ・ガール、ロマン・ロラン、アナートル・フランスなど、多くの作家の大河小説を読みふけていたことを思い出します。

企業人生をおくるようになって振り返って思えば、人の人生は一度だけですが、大河小説の中ではいろいろな模擬人生を経験できます。これこそが佐藤先生のおっしゃっていた「読書はその人の血となり肉となる」の意味のように思います。生徒の自主性を重視する教育をされていた電高に入学し、佐藤先生をはじめご指導いただきました先生方にあらためて感謝します。

皆様もご承知のとおり、近年のAIの発展は目覚ましく、膨大なデータを解析し予測や判断を行う能力を持つAIは社会のあらゆる分野に変革をもたらそうとしております。特に生成AIは単なる推論を超え、エージェント的な役割を担い始め、さまざまなタスクを自律的に実行する段階へと進化しており、AGI（Artificial General Intelligence：汎用人工知能）に近い状況に達しているとも言われております。

AIが高度化する一方で、それを社会にどう適用するかといった課題は、人間の判断に委ねられています。今後は、このような課題への取り組みやAIと人間の役割（例えば知識はAIに任せるとしても、人間同士は心を通わせ良識や共感性を育む）の在り方についての検討がますます重要になってくると思います。

本学は理工系の学園であります。今後は専門技術や知識による「ものづくり」だけでなく、科学技術と社会

をどのようにつなぐかが重要です。そのためには哲学ではなくても、人や社会の活動経験を示す文学や社会科学などの教育も必要なのではないかと考えます。

東京電機大学の建学の精神である「実学尊重」は、創立以来技術者の

育成に力を注いでまいりました。さらに「技術は人なり」という教育理念には、「優れた技術者は人としても立派でなければならない。技術者になる前に、まず人として成長しなければならない」という意味が込められており、今後の社会における技術者の在り方についても普遍的な示唆を与える理念です。

今年度は、学校法人のガバナンス改革を目的とした私立学校法の大規模な改正が行われ、本学園も法人ガバナンス改正後の新たな体制でスタートした年度となりました。教育環境、社会状況の変革期にありますが、引き続き「技術で社会に貢献する人材の育成」に努め、皆様とともに力を合わせ、活気にあふれたより良い未来のために新たな挑戦を続けてまいりたいと考えております。





## 校友会理事長メッセージ

# 東京電機大学校友会と中学・高等学校同窓会

一般社団法人 東京電機大学校友会  
理事長 森戸 義美

校友会（一般社団法人東京電機大学校友会）理事長の森戸義美でございます。

このたび、中学・高等学校同窓会誌『朋友』が盛大に発行されますことを、心よりお祝い申し上げます。日頃より同窓生の皆様が母校を温かく見守り、同窓会活動にご尽力くださっておりますことに、校友会を代表して厚く御礼申し上げます。また、校友会活動にも日頃からご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

まず、校友会の近況についてご報告させていただきます。

1つ目は、「デジタルプラットフォームの刷新」です。

校友会は令和3年度より、コミュニケーションの質を高め、校友間の交流をより活性化させるため、公式ウェブサイトとSNSの活用を強化してまいりました。これにより、世代や地域を超えた情報交換や、キャリア支援情報へのアクセスが格段に向上しました。現在、ウェブサイトは毎月約2,000人に閲覧され、メールマガジンは約9,000人に配信されています。

2つ目は、「地域支部活動の活性化支援」です。

全国各地の支部活動に対し、オンライン会議システムや広報ツールの提供などデジタル面での支援を強化することで、校友が気軽に集える環境を整えました。現在では支部の役員会などもオンラインで開催されています。

さて、理事長として校友会の運営を行うにあたり、私は以下の2つの抱負を実現したいと考えております。

第1に「所属・世代を超えたネットワークの構築」です。

中学・高等学校の同窓生の皆様と、大学の学部・大学院の同窓生の皆様が、所属や世代を超えて交流し、互いに学び合えるプラットフォームを強化します。この強固な「全卒業生ネットワーク」こそが、卒業生一人ひとりのキャリアと人生を支える生涯の財産になると確信しています。さらに、このネットワークは、中学・高等学校の生徒たちにとって将来の進路を考える上での大きな羅針盤となり、同窓生の皆様にとっては生涯にわたる交流の場、学び直しとなるはずで、皆様が社会で培われた知見や経験を、ぜひ母校の若き後輩たちへ還元していただきたいと願っております。

第2に「母校の発展を支える強力な応援団」です。

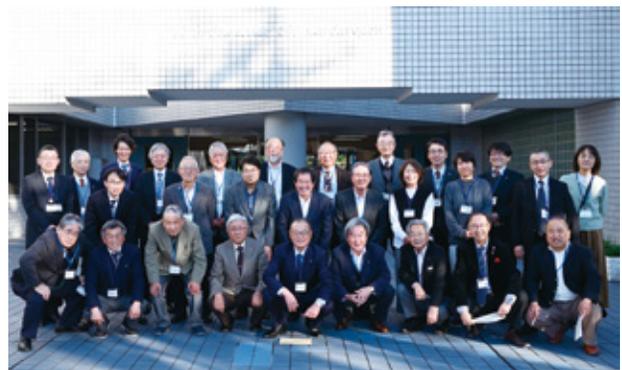
校友会は単なる卒業生の集まりにとどまらず、大学と中学・高等学校の教育・研究活動を力強く後押しする応援団としての役割を強化いたします。皆様からいただく貴重なご支援とご協力は、在校生への奨学金制度拡充や教育環境の整備に直結し、未来の学園を創る原動力とな

ります。

結びに、中学・高等学校同窓生一人ひとりの社会での活躍は、母校の誇りであり、学園全体の発展を支える力です。校友会理事長として、皆様の活動に心から敬意を表するとともに、今後も

同窓会活動へのご尽力と校友会活動へのご理解・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

皆様のますますのご健勝とご活躍、そして中学・高等学校のさらなる発展を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。



小金井キャンパスで理事会を初開催 記念撮影



校地拡張用地を視察



理事会の様子



学校だより  
中学校

経験こそが生徒を成長させる原動力！ 仲間と心躍る体験を分かち合うことで、未知の世界へ踏み出す勇気が生まれます。



全校強歩大会～多摩川河川敷にて～ (2025/5/26)  
班員同士励まし合いながら無事踏破することができました。



中1 林間学校 (2025/7/23 ~ 25)  
五感を研ぎ澄まして富士山の雄大な自然を満喫しました。



武蔵野祭① (2025/9/20・21)  
声が重なり、心がひとつになった中2の全体合唱。



武蔵野祭② (2025/9/20・21)  
中3による演劇。舞台の裏にはさまざまなドラマがありました。



中1 見学会 (2025/10/17)  
野川に沿って散策し、地域の歴史や自然について学びました。



中2 見学会 (2025/10/17)  
鎌倉幕府の面影に包まれ、時空を超えて古都を散策しました。



中3 TOKYO GLOBAL GATEWAY (2025/10/17)  
海外の雰囲気を感じながら英語を体験しました。



体育祭 (2025/11/1)  
中3 恒例ソーラン節。抜群のチームワークでした！

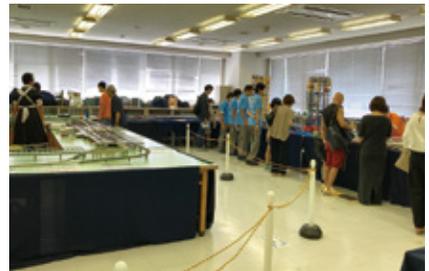


学校だより  
高等学校

生徒たちは学校行事を通して自己理解を深めます。



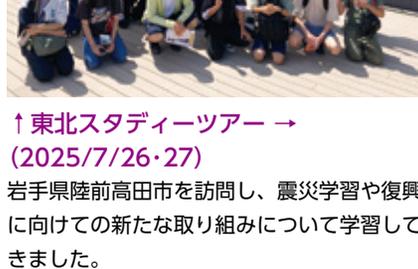
**体育祭 (2025/6/7)** 体育祭執行部が中心となり開催。生徒全員が楽しめる工夫がなされています。  
(左) 高3女子による「扇の舞」 (中央) 毎年白熱する「騎馬戦」 (右) 学年縦割りで盛り上がる「大玉送り」



**武蔵野祭 (2025/9/20・21)** 生徒の日頃の成果発表の場です。保護者や東京電機大学の学生の方々にもご協力いただき盛り上げます。  
(左) 「初日スタート前」入場待ちの列。 (中央) 東京電機大学理工学部「フォーミュラSAEプロジェクト」 (右) 「鉄道研究部」による模型レイアウト展示



**←第45回文化講演会 (2025/7/15)**  
今年、「自分の“好き”を見つけ、挑戦へとつなげる方法」とのお題で、藤本あゆみ先生をお招きして、近年注目が高まっている「アントレプレナーシップ」についてご講演いただきました。



**↑東北スタディーツアー → (2025/7/26・27)**  
岩手県陸前高田市を訪問し、震災学習や復興に向けての新たな取り組みについて学習してきました。

**↓カンボジアボランティアツアー (2024/7/28 ~ 8/3)**  
アンコールワットで知られるシェムリアップから車で1時間ほどの村にある小学校で日本語・英語を教えるボランティアに取り組み、現地の状況についても学びました。





クラブだより  
中高卓球部

伊藤 優一《中高卓球部 顧問》

現在、中学生が14名（うち女子1名）、高校生が6名（うち女子1名）と少人数ながら、それぞれ週3日活動しています。中高一括りの部活動ではありますが、実際の活動は中学・高校に分かれ、各部長が中心となってメニューを組み立て、練習に取り組んでいます。基本的には生徒主体の活動を通じた成長を期待しているところですが、顧問の先生やコーチ、OBが熱心に指導に携わってくださるおかげで、その日の練習で不足している内容や強化をした方がよい部分について助言を受けることができます。日々、部活動を楽しみながらも決してお遊びではなく、技術向上と公式戦に向けて励んでいます。

最近ではオリンピックや世界卓球といった国際大会での日本人選手の活躍が注目され、卓球人気が高まっているようです。本部でも新入生の仮入部期間には一定数の生徒が体験入部に参加してくれますが、実際に本入部に至る人数は限られています。主観ですが、卓球は手軽に始められる一方で、返球（ラリー）に独特の難しさがあるためではないかと思えます。直径40mmの白球がそれ

りの速さで自分に向かってくるのを打ち返すのも、初めは一苦労です。それを乗り越えた先には、回転がかかったボールを打ち出したり打ち返したりする段階に進みます。これこそが卓球の面白さ・醍醐味ですが、この楽しさを実感できるようになるまでには1年はかかるかもしれません。現在在籍している部員はいずれも根気強く練習に向き合い、努力を惜しまない素晴らしい生徒たちです。部活動を通じて卓球の技術のみならず、人間としての成長も期待しながら、今後も活動を支えていきたいと考えています。



クラブだより  
歴史地理研究部

今井 威史《中高歴史地理研究部 顧問》

歴史地理研究部は、名称に「地理」を加えて25年が経ち、10～20名ほどの部員で活動しています。

文化祭（TDU武蔵野祭）では「湧水」を使ったコーヒー提供を続けています。「国分寺崖線（通称ハケ）」の地下水を調査していた部員から「この湧水を活用できないか」と相談を受けたのが始まりでした。地元の方や当時の小金井市長に助言をいただき、喫茶店で淹れ方を学んだこともありました。その後商店会により井戸が設置され、水汲みは楽になりました。さらに倉庫に眠っていた大型スピーカーを同窓会の川村参与をはじめ、卒業生有志の皆様が修理していただき、文化祭限定でジャズやクラシックを響かせています。

夏休み中の研修旅行もビッグイベントです。2025年は名古屋の製鉄所を皮切りに、トヨタ記念館で「ものづくり」を学習。犬山城で木曾川を眺め、翌日は長良川河口堰など治水施設を見学し、水と共存する地域性を実感しました。最終日は関ヶ原へ。以前断念した名古屋城にも立ち寄り、強行軍でした。

部員と多くの場所を訪ね、思い出は尽きません。大先輩の邊見端先生はお元気で、若手の田畑佳介先生にも支

えていただいています。私ももう少し頑張ろうと思っています。OB・OGの皆さんとも再会できる機会を楽しみにしています。



日本製鉄名古屋製鉄所での集合写真



関ヶ原古戦場にて



## 私の近況

河野 吉伸 (情報科)

私は情報科の教員ですが、以前、顧問の齊藤先生、副顧問の大塩先生、そして私の3名で、中学・高校ラグビー部を担当していました。コロナ禍で大塩先生が退職され、2022年度から2名体制となりました。そのため、別行動の際には、私が中学、齊藤先生が高校を担当し、時間が許せば互いの担当とは関係なく顔を出していました。

中学校ラグビー部は、2021年度の新人戦から明大八王子・桐朋と連合チーム(明八桐電連合)を組んでいました。途中、1年間だけ久留米が加わった時期もありました。最初はなかなか勝てませんでしたが、徐々に勝てるようになりました。合同練習の日も増え、土曜・日曜・祝日、春・夏・冬休みは引率でとても忙しかったのを覚えています。そんな中でも、生徒たちの頑張りが私の励みとなりました。2024年度からは二神先生が副顧問に加わり、大いに助けてもらいました。

2024年度の中学春季大会では、予選リーグを突破し、決勝トーナメントで決勝日まで戦いました。この大会の結果は、優勝：明大中野、準優勝：久我山、3位：千歳、4位：本郷、5位：慶應、6位：明八桐電連合、7位：早実で、6位で関東大会出場を決めました。関東大会ではCブロックの決勝に進み、ワールドカップで使用された熊谷ラグビー場で、早実と対戦しました。結果は19対21の惜敗でしたが、非常に内容の良い試合でした。

また、同年度の新人戦では、高校生が成城・狛江・専大との合同チームで活躍しました。予選リーグを全勝で突破し、決勝トーナメントに進みましたが、初戦で東京朝鮮に12対24で敗れてしまいました。手に汗を握る試合展開で、東京朝鮮はその後4位と好成績を残しました。

2025年度、私は特別講師となり副顧問を退くことになりましたが、現在もコーチとしてラグビー部を見えています。中学生はクラブチームの試合に出場しているため、中体連の公式戦参加は休止中です。高校生は単独チームとして秋期大会に向けて練習していましたが、感染症の影響で棄権せざるを得なくなりました。期待していただけに残念です。

ラグビー部にとってOB・OGの存在は欠かせませんが、コロナ禍で指導に来ることが許されない時期がありました。2022年度頃から許可制でOB・OGによる指導が可能となり、2023年3月には卒業試合等のOB交流試合が復活しました。

また、運動部にとって強化合宿は重要ですが、コロナ禍の2020年度から2022年度までは実施許可が下りませんでした。ラグビー部は従来、夏期と春期に合宿を行っていました。春期合宿はなくなりましたが、夏期合

宿は富士見、西湖、菅平、山中湖と場所を移し、山中湖合宿となってから約30年が経ちました。その間にOBも多く参加してくれるようになり、宿泊日数は諸事情により5泊6日から3泊4日へと減っていきました。

2023年度から合宿を再開できましたが、このとき合宿経験のある生徒はわずかでした。そこで齊藤先生のアイデアで山中湖一周マラソンや石割山ハイキングなどをメニューに加え、無事に復活しました。2025年度は高校生が単独チームとなったこともあり、練習試合やOB相手のアタックディフェンスに切り替え、生徒たちはみるみる上達していきました。

ラグビー部は創部から約60年となります。その間、顧問は楨先生、真野先生、五十木先生、河野、樋田先生、大塩先生、齊藤先生、二神先生と続き、現在は非常に多くのOB・OGがいます。2020年2月には創成期のOBにも呼びかけ、生徒と保護者も参加して新宿の会場にて盛大にOB・OG会を開催しました。齊藤先生の声かけで初代顧問の楨先生にもご参加いただきました。

そして2025年3月、久しぶりのOB・OG会を生徒も交えて学校の食堂で開催しました。幹事はOBでしたが、食堂の手配は二神先生が尽力されたようです。OB・OGも多く参加し、今回も盛大な会となりました。コロナ禍に副顧問を退き、現在九州で暮らす大塩先生も招待され、私も副顧問を退くということで、大塩先生とともに記念品を贈呈していただきました。とても感激してしまいました。

「私の近況」と題しながらクラブ紹介のようになってしまったことをお許しください。部活動に所属せず、学校に来る機会の少ない卒業生の皆さんも、ぜひ文化祭などの折に訪ねてきてください。



中学関東大会  
(2024年6月)



OB 交流試合  
(2024年12月)



OB・OG 会  
(2025年3月)



山中湖合宿  
(2025年8月)



## 先生方の近況

# 先生2年目の夏休み in ドイツ

濱口 莉花 (英語科)

昨年度より本校の教員として奉職し、2年が経とうとしています。まだ慣れないことばかりではございますが、先生方のご尽力と温かさに支えられて、楽しく、やりがいを感じながら、TDUでの日々を送っております。ありがたいことに、若手教員に対するサポートも充実しており、入職後には多くの研修の機会をいただきました。

また、校外研修への応募もご承認いただき、夏休みの間には日本とドイツの若者を対象とした交流プログラム「Hallo Deutschland 2025」に参加いたしました。参加者は日独合わせて約50名で、ベルリンとドレスデンの2つの都市に滞在しました。「Herausforderungen meistern ~乗り越えたその先に~」というメインテーマのもと、課題ごとにディスカッション、インタビュー、

講義受講、企業・NPO訪問などの活動を行いました。私は Diversity グループに配属となり、主に学校教育現場における多様な生徒への適切な対応について学びました。成果発表としてベルリン日独交流センターにおいてスピーチとポスターセッションを行い、帰国後には在日ドイツ大使館にお招きいただき、ジークムント大使をはじめ関係者の方々にお目にかかることができました。

このように教員として勤務しながら、学びやさまざまな経験の機会をいただき、恵まれた環境にあることを改めて感じるばかりで、感謝の念に堪えません。それでも勉強不足で至らない点ばかりですが、将来の恩返しのためにも、生徒とともに学び、成長し続けられる教員でありたいと思っております。



ベルリン日独センターでの活動発表



ベルリン・コンツェルトハウスの見学



グループ発表のポスター



在ベルリン日本大使館でのレセプションパーティーでの集合写真



## 2025年度 東京電機大学中学・高等学校同窓会

同窓会は、年間を通しさまざまな活動を行っています

### 武蔵野祭 だんわ室・公開講演会

今年度の武蔵野祭は9月20日、21日の両日に開催され、中高同窓会は恒例の「だんわ室」の開設に加え、現役大学生である卒業生による高校卒業後の進路や将来についての相談会、公開講演会を開催しました。

「だんわ室」は語らいのスペースとしておなじみの企画で、多くの卒業生が来室し、先生との思い出話などに花を咲かせ、毎年ご好評をいただいています。

現役大学生による相談会は、昨年度「だんわ室」の一角でプレ企画として開催したものを発展させ、「未来のヒント 先輩に聞いちゃえ!」と題して、今年度は別室で開催しました。在校生や保護者のほか、電高・電中を志望する受験生とその保護者も多数来室し、進路選択の

経験談、受験勉強の方法、大学での専門分野の内容、キャンパスライフなど、さまざまな質問に若手卒業生が笑顔で熱心に答えていました。

公開講演会では、武蔵野大学工学部准教授の樋口あや先生をお迎えし、「太陽と地球のレシピ」という演題でご講演いただきました。南米チリにあるアルマ望遠鏡やハワイのすばる望遠鏡による天文観測のお話から、先生が天文学を志されたきっかけまで、大人から小さなお子さんまで天体の楽しさを感じられる内容でした。

各企画には多くの卒業生、在校生、保護者の皆さんにご参加いただき、二日間を通してとても活気あふれる武蔵野祭となりました。次回の武蔵野祭でも、多くの方々のご来場をお待ちしています!



### 記念式典 二十歳の祝い

令和7年度「二十歳の祝い」式典および懇親会を、5月31日の同窓会総会後に小金井キャンパスで開催しました。昨年度より対面での開催を再開し、会場を母校である小金井キャンパスとしたことで、母校での開催は今回が2回目となります。

小ホールで行われた記念式典では、来賓の皆さまより温かいお祝いと励ましのお言葉をいただき、二十歳を迎えた卒業生たちも、神妙な面持ちで耳を傾けていました。式典後は参加者待望の懇親会が開かれ、恩師や同級生

との再会に笑顔が広がり、にぎやかで和やかなひとときとなりました。お開きの頃には「もう時間なの〜?」と名残を惜しむ声も聞かれました。

今回の懇親会をきっかけに、クラス単位での集まりや交流が今後さらに広がり、同級生同士のつながりが続いていくことを、同窓会幹事一同願っております。

なお、このような催しは他校では珍しいようで、後日、読売新聞オンラインにも取り上げられました。

【読売新聞オンラインの記事】

<https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/support/information/CO036456/20250613-OYT8T50025/>



## 記念式典 三十歳の集い

中高同窓会では、従来の「二十歳の祝い」に続き、今年度からの新事業として「三十歳の集い」を11月15日、母校のカフェテリアで開催しました。

卒業から12年が経ちましたが、約250名の卒業生のうち約180名と連絡が取れ、55名が参加しました。

皆さんは社会の第一線で活躍され、多忙な日々を送っていることと思いますが、久しぶりに同級生と母校で顔を合わせ、在学当時の思い出が一気によみがえったようでした。

懇親会の冒頭では、影山先生より、在校時に担任を務められていた大塩先生からのメッセージが紹介されまし

た。先生は現在、故郷である長崎県島原市に移住され、精力的に活躍されています。先生からの温かいメッセージに会場全体がさらに笑顔に包まれました（大塩先生からのメッセージ全文は中高同窓会ホームページに掲載しています。また、『朋友』39号に大塩先生の島原での様子が紹介されています）。

同級生や先生方との会話には子育ての話題もあり、「三十歳の集い」ならではの話題だと感じました。

また、同じ日には中学校の学校説明会が行われており、キャンパス見学の際にカフェテリアでの会の様子をご覧になった志望者の小学生や保護者の方から「卒業してからもこうして集まれる機会があるっていいですね」とのお言葉もいただきました。



(上段左) 『朋友』39号掲載の大塩先生の記事とメッセージを会場内に掲示  
(上段中) 影山先生代読の様子  
(上段右) 大塩先生からのメッセージ全文



## 2025 (令和7) 年度 事業報告

### ①総務委員会

総務委員会は、昨年度同様に広報委員会・クラス会促進委員会および校友会と連携協力して各事業・行事等の企画・調整を行い、同窓会活動を推進いたしました。

#### \*実施項目\*

- 1) 第66回総会の開催(準備運営)
- 2) 幹事会の開催(準備・運営)
- 3) 新会員に同窓会・校友会活動の説明(高3、3学期終業式にて)
- 4) 中学校探求活動発表会への支援(探求授業運営援助、奨励賞授与)

- 5) 学園祭(武蔵野祭)への参加(だんわ室開設、公開講演会の実施、人気投票の表彰)
- 6) 在学会員活動参観(学園祭・体育祭・合唱祭、文化講演会、芸術鑑賞会 他)
- 7) 「二十歳の祝い」の開催(総会と同時開催)
- 8) クラブ活動後援会との連携(武蔵野祭「だんわ室」開設)
- 9) 入学記念品(校章バッジ)を新入生に贈呈
- 10) 卒業記念品(卒業証書挟み)を卒業生に贈呈
- 11) 「三十歳の集い」の開催

### ②広報委員会

#### \*実施項目\*

- 同窓会ホームページで同窓会の情報配信、中高同窓会 web サーバメンテナンス

- Facebook 中高同窓会ページで同窓会の情報を発信
- 同窓会誌『朋友』41号の発行
- 東京電機大学校友会「校友会のしおり」発行協力

### ③クラス会促進委員会

クラス会促進委員会は「同窓会の充実とクラス会の開催の促進を図る」ことを第一に考え、下記項目を予定し、クラス会開催支援活動を行いました。

#### \*実施項目\*

- 1) クラス委員名簿の充実とメンテナンスの継続を図る。
- 2) 母校と連携し、クラス会開催を促進する。
- 3) クラス会開催クラスの名簿の収集等を行う。

- 4) さまざまな場面を通じて、同窓会の活性化とクラス会開催の促進PRを行う。
- 5) クラス会およびクラブOB・OG会開催時に、対面形式の開催でも、リモート形式の開催でも、名簿等の提供、1クラス2万円の援助、学園の近況などの情報提供をできるように校友会との連携強化を図りながら支援を行う。

## 令和6年度クラス会・クラブOB・OG会開催状況(前号掲載以降)

No.	学科、クラブ名称	開催日
1	昭和62年卒 機械科クラス会	令和6年12月7日
2	令和元年卒 普通科6・7・8組クラス会	令和6年12月28日
3	昭和53年卒 普通科4組	令和7年1月11日
4	平成30年卒 普通科1・2組	令和7年2月15日
5	平成5年卒 情報科学科	令和7年3月1日
6	平成26年卒 普通科1・2組	令和7年3月29日

No.	学科、クラブ名称	開催予定日
1	中学・高等学校 「二十歳の祝い」	令和7年 5月31日
2	バンド愛好会	令和7年 6月21日
3	高校 昭和53年卒 電子科1組	令和7年 6月28日
4	高校 剣道部 OB会	令和7年 6月29日
5	令和5年卒 3組クラス会	令和7年 8月23日
6	高校 鉄道研究部 OB会	令和7年 9月20日
7	高校 昭和62年卒 機械科クラス会	令和7年 9月20日
8	高校 歴史地理研究部	令和7年 9月21日
9	高校 平成11年入学 1年6組クラス会	令和7年 9月27日
10	昭和59年卒普通科合同クラス会	令和7年10月19日
11	高校 昭和41年卒 電子科1組	令和7年10月20日
12	高校 平成26年卒普通科3組クラス会	令和7年10月31日
13	高校 平成元年卒 電子科1組	令和7年11月8日
14	中学校 1999年度普通科ABC組クラス会	令和7年11月23日
15	高校 平成3年卒電子科1組クラス会	令和7年11月23日
16	高校 昭和50年卒機械科クラス会	令和7年11月23日

## 2026 (令和8) 年度 事業計画

### ①総務委員会

#### \*計画項目\*

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 第67回総会の開催(準備運営)</li> <li>2) 幹事会の開催(計画・準備・運営)</li> <li>3) 新会員への同窓会・校友会活動の説明(高3、3学期終業式にて)</li> <li>4) 中学校探求活動発表会への支援(探求授業運営援助、奨励賞授与)</li> <li>5) 学園祭(武蔵野祭)への参加(だんわ室開設、人気</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>投票の表彰)</li> <li>6) 在学会員活動参観(学園・体育・合唱祭、文化講演会、芸術鑑賞会、他)</li> <li>7) 「二十歳の祝い」の計画と開催</li> <li>8) 入学記念品(校章バッチ)を新入生に贈呈</li> <li>9) 卒業記念品(卒業証書挟み)を卒業生に贈呈</li> <li>10) 校外研修会の開催(計画・準備・運営)</li> <li>11) 「三十歳の集い」の計画と開催準備</li> </ol> |
|---|--|

### ②広報委員会

#### \*計画項目\*

- 同窓会ホームページで同窓会の情報配信、中高同窓会 web サーバメンテナンス
- Facebook 中高同窓会ページで同窓会の情報を発信
- 同窓会誌『朋友』42号の発行
- 東京電機大学校友会「校友会のしおり」発行協力

### ③クラス会促進委員会

#### \*計画項目\*

対面形式以外にリモート形式の開催も推奨しています。リモートの方法は、クラス委員にお任せします。

※クラス会促進委員会は「同窓会の充実とクラス会の開催の促進を図る」ことを第一に考え、活動しております。

※卒業生の皆様には、中学校・高等学校時代の仲間と先生を囲みクラス会を開催し、思い出話をして楽しく過ごしていただくために、クラス会開催のお手伝いをいたします。

※クラス会促進委員会は、広報委員会・校友会事務局とも連携し、会員からの情報を管理し、より多くの卒業生のクラス会開催を支援いたします。

#### \*事業計画項目\*

- 1) クラス委員名簿の充実とメンテナンスの継続を図る。
- 2) 母校と連携し、クラス会開催を促進する。
- 3) クラス会開催クラスの名簿の収集等を行う。
- 4) さまざまな場面を通じて、同窓会の活性化とクラス会開催の促進PRを行う。
- 5) クラス会およびクラブOB・OG会開催時に、対面形式の開催でも、リモート形式の開催でも、名簿等の提供、1クラス2万円の援助、学園の近況などの情報提供をできるように校友会との連携強化を図りながら支援を行う。

## 住所変更ページのご案内

住所変更手続きは下記のページから行えます。  
[https://www.tduaa.or.jp/process/change\\_address/](https://www.tduaa.or.jp/process/change_address/)  
(東京電機大学校友会ホームページ)



## 中高同窓会ホームページ SNSのご紹介

中高同窓会ではホームページ、SNS (Facebook) で情報発信をしています。

### ◎中高同窓会ホームページ

ホームページからクラス会助成金の申し込み、『朋友』のバックナンバーの閲覧ができます。  
URL <https://www.tdu-chukodoso.com>



### ◎中高同窓会 Facebook

ホームページと合わせて、同窓会の情報をお届けしています。  
URL <https://www.facebook.com/dendaicyukoudousoukai/>



## クラス会 OB・OG 会開催へ 補助金 2 万円！



同窓会では、クラス会、クラブ・同好会の OB・OG 会開催に補助金 20,000 円をお出ししています。

クラス会を開きたいけれど、仲間の連絡先がわからない等、困ったことはありませんか？

そんな時には、校友会事務局へご連絡ください。

校友会では、補助金の支給のご案内やクラス名簿の提供等で皆さんのクラス会開催をサポートしています（名簿の利用には誓約書の提出が必要です）。

また、同窓会ホームページからオンラインでの申請も受け付けています。

一般社団法人 東京電機大学校友会

〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番

TEL 03-5284-5140 FAX 03-5284-5187

E-mail [kouyukai@jim.dendai.ac.jp](mailto:kouyukai@jim.dendai.ac.jp)

校友会ホームページ <https://www.tduaa.or.jp/>

中高同窓会ホームページ <http://www.tdu-chukodoso.com>



中高同窓会  
オンライン申請ページ

※開催されたクラス会の報告については、中高同窓会ホームページの「クラス会、クラブ OB・OG 会活動報告」に掲載しています。

《 役員 》

会 長	伊奈 敬	昭和 48 年 卒
副 会 長	平野 桂介	昭和 57 年 卒
副 会 長	竹内 勇夫	昭和 53 年 卒
副 会 長	田邊 敏宏	平成 4 年 卒
会 計	西浦 猛士	平成元年 卒
会 計 監 査	横山 眞一	昭和 27 年 卒
会 計 監 査	内山 章夫	昭和 54 年 卒

《 常設委員会 委員長・副委員長 》

総 務 委 員 会	委 員 長	平野 桂介	昭和 57 年 卒
	副 委 員 長	大沼 一博	昭和 43 年 卒
クラス会促進委員会	委 員 長	竹内 勇夫	昭和 53 年 卒
	副 委 員 長	金子 英司	昭和 45 年 卒
広 報 委 員 会	委 員 長	田邊 敏宏	平成 4 年 卒
	副 委 員 長	伊奈 敬	昭和 48 年 卒

《 幹 事 》

横山 眞一	昭和 27 年 卒	金子 英司	昭和 45 年 卒	本間 昭伸	昭和 53 年 卒
向井 暉二	昭和 32 年 卒	藤井 厚郎	昭和 46 年 卒	内山 章夫	昭和 54 年 卒
見崎 正行	昭和 35 年 卒	渡邊 俊光	昭和 46 年 卒	山田 富夫	昭和 55 年 卒
鈴木 整司	昭和 35 年 卒	木村 孝由	昭和 48 年 卒	平野 桂介	昭和 57 年 卒
林 猛	昭和 41 年 卒	伊奈 敬	昭和 48 年 卒	内藤 眞拓	平成元年 卒
鈴木 行男	昭和 41 年 卒	古城 仁	昭和 50 年 卒	西浦 猛士	平成元年 卒
幕田 俊勝	昭和 41 年 卒	相原 浩一	昭和 53 年 卒	田邊 敏宏	平成 4 年 卒
荒 教	昭和 42 年 卒	河野 吉伸	昭和 53 年 卒	小林 晴貴	平成 27 年 卒
大沼 一博	昭和 43 年 卒	竹内 勇夫	昭和 53 年 卒		
宇田 勇	昭和 45 年 卒	和田 昌之	昭和 53 年 卒		

《 顧問・参与 》

名 誉 会 長	平川 吉治	—	学校長
顧 問	高久 広毅	—	元 学校長
顧 問	宮本 治	—	元 学校長
顧 問	向芝 京太	昭和 48 年 卒	元 学校長・東京電機大学校友会常務理事
顧 問	大久保 靖	—	元 学校長
参 与	加藤康太郎	昭和 29 年 卒	元 学校法人東京電機大学理事長
参 与	矢野 善治	昭和 30 年 卒	元 東京電機大学校友会理事長
参 与	柴山 茂男	昭和 30 年 卒	第 5 代 幹事長 (会長)
参 与	小長谷 登	昭和 31 年 卒	第 10 代 会長
参 与	松下 祐輔	昭和 34 年 卒	第 6 代 幹事長 (会長)
参 与	大塚 忠克	昭和 39 年 卒	第 8 代 会長
参 与	印宮 登	昭和 41 年 卒	第 7 代 会長
参 与	加藤 克己	昭和 40 年 卒	東京電機大学校友会 前 埼玉県支部長
参 与	石崎 泰司	昭和 37 年 卒	第 11 代 会長
参 与	渡辺 幸久	昭和 39 年 卒	第 12 代 会長
参 与	村田 耕治	昭和 40 年 卒	東京電機大学校友会 東京都支部長
参 与	渡辺 貞綱	昭和 40 年 卒	学校法人 東京電機大学理事長
参 与	川村登志一	昭和 40 年 卒	第 13 代 会長

## 2025 (令和7) 年度 中学・高等学校 同窓会【予算書】

(期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日)

### 《収入の部》

(単位: 円)

	科 目	予 算	前年度 決 算	備 考
1	会 費	1,556,000	1,672,000	
内 訳	1) 高校 R7年3月卒 227名	908,000	996,000	令和6年3月卒 249名
	2) 中学 R7年3月卒 162名	648,000	676,000	令和6年3月卒 169名
2	活 動 費	1,700,000	1,400,000	
内 訳	1) 校友会活動費	1,400,000	1,400,000	
	2) イベント協賛援助金	300,000	0	
3	雑 収 入	1,300,000	43,429	
内 訳	1) 祝金, 貯金利息, 他	50,000	43,429	
	2) 「二十歳の祝い」会費	0	0	
	3) 「三十歳の集い」会費	50,000	0	
	4) 積立金 繰入	1,200,000	0	
A	小 計	4,556,000	3,115,429	
B	前年度繰越金	671,386	652,238	
C	収入合計	5,227,386	3,767,667	

### 《支出の部》

(単位: 円)

	科 目	予 算	前年度 決 算	備 考
1	事 業 費	3,920,000	2,397,716	
内 訳	1) 総会費	100,000	83,895	
	2) 「二十歳の祝い」	750,000	725,700	
	3) 「三十歳の集い」	750,000	0	
	4) クラス会クラブOB会開催補助	1,000,000	330,000	
	5) 同窓会誌製作発行費	800,000	724,390	
	6) ネットワーク関係運営	150,000	140,290	ホームページ管理 電子会議 他
	7) 校外研修会	150,000	59,380	
	8) 学園祭「だんわ室」開設	120,000	300,677	
	9) 委員会費	50,000	0	三委員会 合算
	10) 会計監査費	30,000	33,384	
	11) 運営委員会費	10,000	0	
	12) 会則検討委員会	10,000	0	
	13) 周年記念事業	0	0	
2	会 議 費	500,000	343,634	
内 訳	1) 通常幹事会	350,000	259,010	
	2) 武蔵野祭幹事会	150,000	84,624	
3	諸 費	220,000	221,150	
内 訳	1) 慶弔費	120,000	80,000	
	2) 交通費	50,000	104,000	
	3) 雑費	50,000	37,150	
4	事 務 通 信 費	200,000	96,381	
内 訳	1) 書類発送諸費	200,000	96,381	
5	特 別 会 計	0	0	
内 訳	1) 記念事業積立金 繰出	0	0	
6	在 学 会 員 支 援	160,000	37,400	
内 訳	1) サポート募金	0	0	
	2) 探求授業援助	110,000	37,400	運営援助 会長奨励賞
	3) 卒業生交流イベント	50,000	0	
7	予 備 費	100,000	0	
A	小 計	5,100,000	3,096,281	
B	次年度繰越金	127,386	671,386	
C	支出合計	5,227,386	3,767,667	

学校・年次別卒業生一覧（令和5年卒～令和7年卒）

卒業年次	高等学校											合計
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	
R 5	7	23	28	18	9	35	35	10	21	36	35	257
R 6	14	23	31	35	35	6	22	42	41			249
R 7	8	20	29	34	34	16	17	39	37			234
												合計 (累計) 740 (16,464)

卒業年次	中学校					合計
	A	B	C	D	E	
R 5	31	29	29	29	28	146
R 6	35	33	33	33	35	169
R 7	32	33	32	33	33	163
						合計 (累計) 478 (3,550)

学校・卒業年次別担任・クラス委員一覧（令和5年卒～令和7年卒）

卒業年次		高等学校クラス										
		L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11
R 5	担任	中田和樹		柴山恵実	池田 巧		山住直政	八百屋尚志	横田美月		白岳 学	疋田康之
	クラス委員	飯島大和		菅沼怜音	轉石健太郎		針木勇太郎	宋 河允	岩崎友哉		石川翔大	阿部俊哉
		大屋優花		妙島由乃	小川紗英		柳原愛理香	若野蒼空	江原有香		松岡 遼	馬場陸人
R 6	担任	松永航平		奥原もな美	下邨貴裕	吉澤 稔	矢口陽一		阿部苗美	加藤 学		
	クラス委員	池田彩奈		小野茉音	岩木心春	市村和花	早坂玲音		大島工季	土屋勇輝		
		小倉春士		小林大翼	上村亮太	山内盛太郎	山田希実	山下勝也	富岡大翔			
R 7	担任	長尾勇輝		島崎由紀子	山住直政	疋田康之	山本将也		星野真佑子	柴山恵実		
	クラス委員	高原英佑		猪田悠雅	伊藤 怜	石井陽希	増田裕太		清永真人	須藤蒼太		
		渡邊智葉		岡林加純	菊武洸仁	鈴木優菜	万木蒼士		墨井謙悟	三上柃音		

◆2026（令和8）年度 東京電機大学中学・高等学校同窓会総会のご案内◆

下記の要領で2026（令和8）年度の東京電機大学中学・高等学校同窓会総会を開催いたします。  
会員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- ◎日 時：2026（令和8）年5月30日（土） 14:00から（予定）
- ◎場 所：東京電機大学中学校・高等学校 東京小金井キャンパス 小ホール
- ※詳細は決定次第、同窓会ホームページ（<http://www.tdu-chukodoso.com>）に掲載いたします。

◆「二十歳の祝い」「三十歳の集い」について◆

中高同窓会では来年度20歳、30歳を迎える卒業生を対象に「二十歳の祝い」、「三十歳の集い」を開催いたします。  
詳細は対象年次の皆様にご案内をお送りいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- 「二十歳の祝い」 2026（令和8）年度 総会に併せて開催予定
- 「三十歳の集い」 2026（令和8）年 秋 開催予定

編・集・後・記

今回の『朋友』第41号では、母校の先輩で昨年の6月に学園理事長に就任された渡辺貞綱理事長と、校友会理事長の森戸義美理事長にご寄稿いただきました。

渡辺理事長は、理事長就任前には中高担当理事として母校の発展にご尽力されてきました。今回は母校の先輩としてこれまでのご経験のほか、学園のトップとしての抱負などをご執筆いただきました。

また、森戸校友会理事長には校友会の近況や今後の展望についてご執筆いただきました。森戸理事長は校友会理事会を今年度初めて小金井キャンパスで開催され、中高の現状をご覧いただき、理事の皆さんにも理解を深めていただく機会を設けていただきました。このような機

会は中高同窓会の一員として大変ありがたく感じております。

お二方とも快く執筆をお引き受けくださり、お願いにうかがった際にも気さくなお人柄に触れ、母校を思う温かいお気持ちを改めて感じました。

母校のさらなる発展のためには、学園・校友会・同窓会が連携して、それぞれの立場から母校を支えていくことが欠かせません。卒業生の皆様の変わらぬ温かいご支援を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、多くの皆様のご協力により、無事に同窓会誌『朋友』41号を発行することができました。深く御礼申し上げます。